



GOTANDA TOPICS

VOL.28
2024年9月号

医療法人社団 巨樹の会
五反田リハビリテーション病院
広報委員会
〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目8-20
TEL 03-3779-8820
FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分

※当病院には駐車できません
最寄り駐車場は 五反田JPビルディングの駐車場になります

GOTANDA TOPICS

五反田リハビリテーション病院 広報誌



撮影者：栄養科 管理栄養士 東条

VOL.28

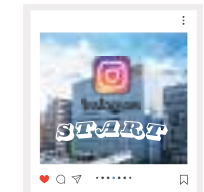
2024年9月号
FREE PAPER
¥0

～今回の特集内容～

病院ホームページの
デザインリニューアル



Instagram
始めました！



ランチョンマットを
患者様へ配布しました



こんにちは！Vol28のニュースレターをお届けします！
 今回もたくさんのニュースとイベントがありますので、ぜひご覧ください！

Topic01 病院ホームページのデザインをリニューアル！

2024年7月中旬、五反田リハビリテーション病院のホームページのデザインをリニューアルしました！
 トップ画面には、当病院の開設8周年を記念して昨年末に撮影した院内の動画が掲載されています。
 動画では、当院の明るく活気のある雰囲気をより感じていただけたと思います。また、ホームページのトップ画面に、定期的に病院のイベントやお知らせ等も掲載しておりますので、ぜひご覧ください！



《広報委員長》喜多村副院長

このたび 1) 病院ホームページのリニューアル、2) 本広報誌のリニューアル、3) インスタグラムの開始など、新加入の若手スタッフ達と共に、数か月間の準備期間を経てスタートさせました。これらによって五反田リハビリテーション病院のことを今まで以上にご理解いただくことになれば幸いです。
 見て楽しい、見てためになる情報をお伝えしていきますのでご期待ください！

Topic02 五反田リハ専用Instagram始めました！

2024年8月1日より、五反田リハビリテーションInstagramアカウントを開設しました！
 当病院の魅力やスタッフの働き方等についてたくさん発信していきます！
 ぜひアカウントのフォロー＆投稿へのいいね♡をよろしくお願いします！

【アカウント名】gotanda_reha8820

五反田リハビリテーション病院
 Instagramアカウントは
 こちらのQRコードから↓



♡五反田リハInstagram投稿内容のご紹介♡

当病院のInstagramアカウントに
 実際に投稿されている内容を一部ご紹介します！

リハビリスタッフの
 1日のタイムスケジュール



職員の休暇制度
 リフレッシュ休日



管理栄養士の紹介



Topic01 リハビリ室のグリーン化を始めました！



みなさんは「オフィスのグリーン化」というものをご存じでしょうか？

人は視界の3割に植物すなわち緑が入ることでリラックスできるといわれています。いわゆるグリーンオフィス化はストレス軽減や視覚疲労軽減、コミュニケーションの活性化などが期待されています。

当病院からも近い東京羽田空港の第1旅客ターミナル出発ロビーには屋内ガーデンが設置されており緑に溢れる空間からリラックス効果を感じることができます。



この度、当院のリハビリテーション室もグリーン化にむけて植物の設置をはじめました。植物の管理や衛生面などを考慮して、当院では人工植物を導入することとしました。また、植物の設置のみならずリハビリ室一面の窓側カーテンを開放することで、病院建物を囲むように植えている樹木が視覚に入るように工夫をしました。

開放に伴い院外からの視線が気になるころではありましたがくもりガラスシートを貼ることで解消しました。グリーン化のきっかけはリハビリスタッフからの提案でしたが、病院全体で実現にむけた議論を重ねてもらい導入に至りました。

これからも患者さんや職員にとってより良い病院環境となるように工夫を重ねていきたいと思います。

リハビリテーション科 作業療法士 岡村



Topic02 座ったままで簡単！転倒予防の体操！

【つま先のあげさげ10回】

両足を軽く
前に出し
つま先を
上げ下げする



【脚を伸ばして3秒キープ】

膝をまっすぐ
伸ばして
つま先は天井に



※安全のため背もたれ付きの椅子で実施しましょう

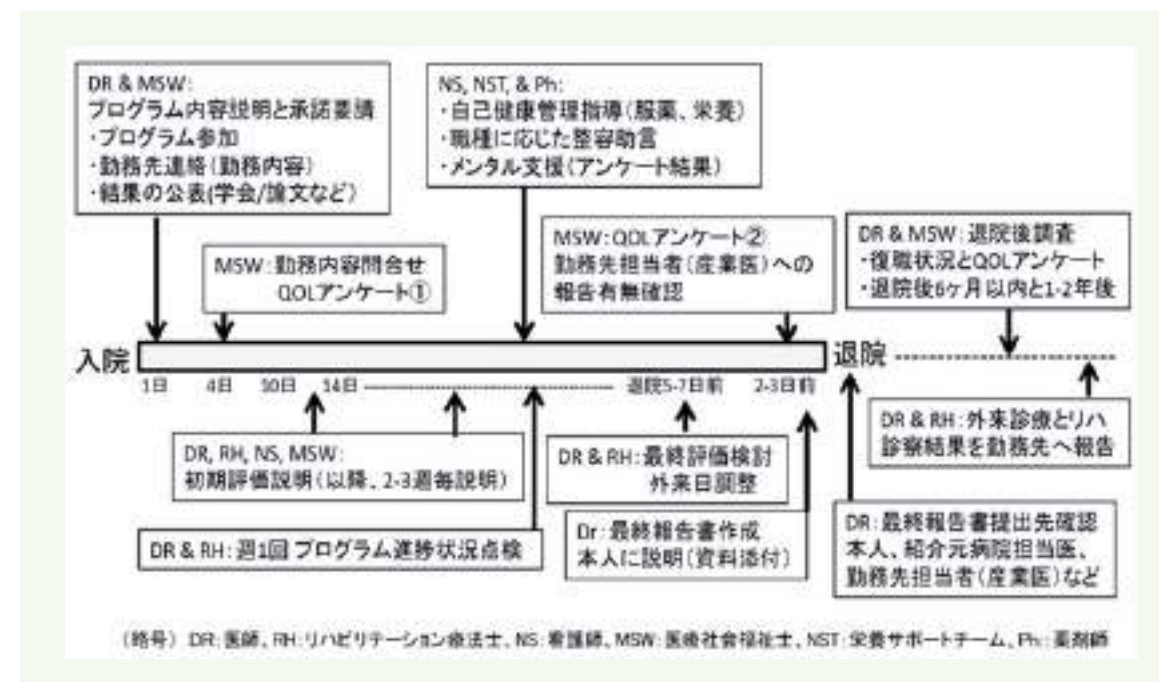
※腰に病気やケガがある方は椅子と背中の方にクッションを入れましょう

リハビリテーション科 作業療法士 岡村

Topic03 就労支援プロジェクトの流れ

入院～退院までのプログラムを設定し、それに沿って様々な専門家が連携して就労に向けてサポートしていきます。

毎週ミーティングを開き、他職種で、対象の患者様の状況報告や今後の方針などについて話し合いを行っています！



リハビリテーション科 言語聴覚士 齋藤

📢 厨房の床面が新しくなりました

厨房の床の一部が劣化していたため
2024年5月 床を全面的にリニューアルしました。

工事期間中は、調理・食器洗浄等ができず、
入院中の患者様へは代替のお食事を用意することとなりました。



リニューアル期間中、ご協力いただいた患者様へ
感謝の気持ちとして、食事に関する豆知識ランチョンマットを
配布しました。ランチョンマットのイラストや文字は、栄養科
スタッフが手書きで作成しました。
患者様にもじっくり読んでいただきました。

日々、あたたかいお食事を用意し、食器を清潔に保つ
ことのできる環境のありがたさを実感する機会になりました。

栄養科 管理栄養士 東条

Version02 5月22日夕食時に配布【おにぎりの具材】



※お食事の形や建さを調整させて頂いております。ご了承ください。 5月22日(夕) 五反田リハビリテーション病院 栄養科

Version01 5月22日朝食時に配布【スイカのマメ知識】



※お食事の形や建さを調整させて頂いております。ご了承ください。

五反田リハビリテーション病院 栄養科

Version03 5月23日朝食時に配布【果物のマメ知識】



※お食事の形や建さを調整させて頂いております。ご了承ください。

五反田リハビリテーション病院 栄養科

各部署の最新情報をお届け！

GOTANDA REHAB. NEWS

2024 09
VOL.28

Topic01 病棟デイルームを夏使用に模様替え！

当病院では、ご入院中の患者様にも季節感を楽しんでもいただけるよう病棟のケアワーカーが中心となり、患者様の憩いの広場であるデイルームの模様替えを適宜行っています！

夏期はペーパー類でひまわりや花火を作成したり、患者様にも協力していただき作成した鶴を使用し虹を飾り付けました！



看護部 看護師 日向

Topic02 病院でもらったお薬の有効期限はあるの？

医薬品には使用期限があり、製造されてからの期間を指しますが、病院で処方されたお薬や薬局で調剤されたお薬には有効期限という考え方はありません。

医師から指示された服用（使用）日数がそれに相当します。
およそ処方日数で使い切ることが基本です。

もし、一旦使わなくなったときなど、保管する場合の期間は、下の表をご参考ください。



処方薬の保管期間の目安

- 錠剤・カプセル剤→6ヵ月～1年
- 散剤・顆粒剤(薬局での分包品)→3ヶ月
- 散剤・顆粒剤(メーカー個装品)→6ヵ月～1年
- 点眼薬(開封済)→1ヶ月
- 点鼻薬(開封済)→1～2ヵ月

薬剤科 薬剤師 山部



Topic03 地区ケア会議に参加してきました【連携室】

5月21日、西五反田在宅介護支援センターで行われた地区ケア会議に当院の医療ソーシャルワーカーが参加してきました。地区ケア会議では、既存の制度やサービスだけでは解決できない様々な問題を抱えている事例について、福祉や医療の専門職と地域の関係者が協働で解決に向けて意見交換を行います。また、そこから地域の課題についても把握できる機会でもあります。

今回は、西五反田在宅介護支援センターの方々や、地域の訪問診療をされているクリニックとも交流を図ることができました。

会議では、まず実際に地域であった事例の検討を行い、対応策や課題について話し合った上で、各専門職による地域の情報共有や、どのような地域課題があるのか、意見を出し合いました。事例のテーマが「在宅生活での栄養管理」ということもあり、地域で食事や栄養について相談できる存在が求められていることがわかりました。

当院でも「地域医療」を大切にしており、栄養科では退院後を見据えた入院栄養指導、退院後に訪問栄養食事指導を行っています。

在宅復帰を目標に支援していく中で、このような地域の課題について把握、検討する機会の必要性を感じました。



医療連携室 社会福祉士 宮田

Topic04 むすびプロジェクト活動報告

むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さまが、その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

「福祉と医療の連携を考える会」参加&発表

福岡県を中心に活動されている、「NPO法人 列島会」「社会福祉法人 あきの会」「NPO法人 ゆとり」（以下、3法人）が合同で主催する「福祉と医療の連携を考える会」へ参加しました。3法人は多岐にわたる福祉事業を展開されており、事業内容は訪問看護・介護、グループホーム、療養介護、医療型児童入所施設、就労継続事業、計画相談など幅広い支援をされています。

当日は、「高次脳機能障害の医療と福祉」についてシンポジウムが行われました。当事者家族の生の声や、行政、支援事業所の活動や抱えている課題などを聞くことができ、高次脳機能障害への理解をより深く理解することができました。また、この会には地域の方も参加されており、高次脳機能障害の理解と地域活動を広げる機会となりました。

トピックス発表でむすびプロジェクトの活動報告、公式LINEで行っている退院後の支援、復職・就労支援が必要な患者さまへの取り組みを中心に発表させていただきました。この発表を通じて、今後も3法人とむすびプロジェクトの連携を深め、回復期リハビリ病院に入院される方、退院された方へより良いサービスが提供できるよう取り組みます。